いわき市環境基本計画(第三次) 一部改定版(素案)に対する 市民意見募集(パブリックコメント) の実施結果について

2025年9月

生活環境部 環境企画課

1 市民意見募集の概要

- (1) 対象案件 いわき市環境基本計画(第三次)一部改定版(素案)
- (2) 意見募集期間令和7年9月2日(火)~9月16日(火)【15日間】
- (3) 公表場所
 - ア 環境企画課(市役所本庁舎6階)
 - イ いわき市役所 1階 市民ホール
 - ウ 各支所情報公開コーナー
 - エ 市ホームページ
- (4) 意見の提出方法

任意の様式に意見・住所・氏名・電話番号を記入し、次のいずれかの方法により提出。

- ア 郵送または直接持参(〒970-8686 環境企画課)
- 1 FAX (22-1286)
- ウ 電子メール (kankyokikaku@city.iwaki.lg.jp)

2 市民意見募集の結果等

- (1) 意見提出人数1人(電子メール)
- (2) 意見提出件数 1件
- (3) 意見の内容及び意見に対する市の考え方 次のとおり

2 市民意見募集の結果等(意見の内容及び意見に対する市の考え方)

1 いわき市内北・中・南で 北部清掃センター・北部浄化センター・いわき環境センターを統合し、「北部クリーン センター」 中部浄化センター・東部浄化センター・を統合し、「中部クリーンセンター」 中部浄化センター・東部浄化センター・を統合し、「中部クリーンセンター」 クリンピーの家を統合し、「中部クリーンセンター」 内リンピーの家を統合し、「クリンピーSDGS ハウス」 南部浄化センター・クリンピーの兵を統合し、「南部クリーンセンター」とする。 いわき市内学校給食共同調理場を「いわき北」「いわき中」「いわき南」と再編・統合し、各学校の給食室を改装、「循環型食育センター」として刷新し、「食品ロス削減」 ちた 市 を図る。 マルト・ベニマルグループと提携し、「フードドライブ」へのバックアップを行う。 クレハグループの工場地帯に「クリーンコールパワー研究所」を創設。 クレハグラウンド(サッカー・テニス・陸上競技場)をSDGS グラウンドとして、設備及び環境を刷新する。 小名浜地区の工場地帯のCO2 を50%削減すべく、小名浜精錬・堺化学を中心として小名 浜港と提携 大王製紙・十条クレハ・常磐共同火力と三位一体で、小浜港や勿来港と提携し、CO2 50%削減する。 飲川河川敷を「カーボンニュートラルグラウンド」として、サッカー・ラグビースペースとランニングスペースを整備し、循環型陸上競技場として整備する。(アパーススタジアムを誘致し、屋外スタジアムとして解放する。)	No.	市民意見の内容	御意見に対する市の考え方
岩間地区を「カーボンニュートラルパーク」として、防災緑地を含め、「クリーンコー ルパワー研究所」も接続して再整備する。 小名浜道路と6 号バイパス、勿来バイパスを線形改良の上、接続し、「カーボンニュー トラルロード」として認定する。	1	北部清掃センター・北部浄化センター・いわき環境センターを統合し、「北部クリーンセンター」中部浄化センター・東部浄化センター・を統合し、「中部クリーンセンター」クリンピーの家・クリンピーの森を統合し、「内リンピーSDGS ハウス」南部浄化センター・クリンピーの丘を統合し、「南部クリーンセンター」とする。いわき市内学校給食共同調理場を「いわき北」「いわき中」「いわき南」と再編・統合し、各学校の給食室を改装、「循環型食育センター」として刷新し、「食品ロス削減」を図る。マルト・ベニマルグループと提携し、「フードドライブ」へのバックアップを行う。クレハグループの工場地帯に「クリーンコールパワー研究所」を創設。クレハグラウンド(サッカー・テニス・陸上競技場)をSDGS グラウンドとして、設備及び環境を刷新する。小名浜地区の工場地帯のCO2を50%削減すべく、小名浜精錬・堺化学を中心として小名浜港と提携、十条クレハ・常磐共同火力と三位一体で、小浜港や勿来港と提携し、CO250%削減する。 鮫川河川敷を「カーボンニュートラルグラウンド」として、サッカー・ラグビースペースとランニングスペースを整備し、循環型陸上競技場として整備する。(アパーススタジアムを誘致し、屋外スタジアムとして解放する。) 岩間地区を「カーボンニュートラルパーク」として、防災緑地を含め、「クリーンコールパワー研究所」も接続して再整備する。小名浜道路と6号バイパス、勿来バイパスを線形改良の上、接続し、「カーボンニュー	施設、埋立施設、下水処理場)の統合等については、いわき市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画、いわき市公共施設等総合管理計画・個別管理計画において、施設のあり方・整備の方針をまとめています。また、本市の脱炭素社会の実現に向けては、いわき市脱炭素社会実現プランに基づき、市民、行政、事業者及び各種団体が連携・協働し、一丸となって取り組むこととしています。いただいた御意見につきましては、今後の